

Sanfrecce Potato

広島さんふれぽと

For All Sanfrecce Hiroshima Supporters
KAWASAKI 2016.10.22 VOL.40
Web Site >>> <http://www.sanfrecce-potato.xii.jp>

アンケートでご感想をお聞かせください！抽選で選手サインなどをプレゼントします♪いただいたご意見は次回の記事に生かします^^こちらのQRコードまたは「さんふれぽと」で検索♪



DESIGN / 1108GRAPHICS

席詰めご協力のお礼

先日のアウェイ浦和戦は席詰めなどのご協力ありがとうございました。特にこの数年の関東アウェイはサボさんたちの集まりが良いので、ゴール裏が満席になりましたね。一面の紫が咲き誇るゴール裏でピッチで走る選手たちにも頼もしかったことだと思います。その一方で試合開始時間に来たお客さんたちは満席のゴール裏に行き場なく階段上部に溢れていました。ご協力いただいた皆さんのおかげで困っていた全員が席に辿り着くことができました。

もしかしたら本日も満席状態になるかもしれません。また皆さんに席を詰めてもらったりご協力いただくことになるとは思いますが、その際は宜しくお願いします。【モリ→】

サンフレッチェに根付き土台となっている「育成」のお話

サンフレッチェ広島が「育成」を重要視しているクラブだということは、サポーターのみなさんをご存知の通りと思います。ジュニアユース、ユースなどの育成組織で選手を育てたり、プロチームに加入した若い選手を成長させる。Jリーグの中でも広島は特にその色が濃いクラブだと思います。

ただ、サンフレッチェはこの5年の間、常にタイトル争いに加わってきたクラブで、例えばU-23世代(23歳以下)の若い選手が先発やベンチ入りを勝ち取るのは容易ではないでしょう。しかし、育成というのは23歳までという期限があるわけではなく、選手を育み成長を促すことはクラブとしてずっと続くものです。この視点で、今季、サンフレッチェの育成の結果を見せてくれる選手ということで、この2選手を挙げたいと思います。

■丸谷拓也選手(2008年加入)

加入から9年が経過し、他クラブへの期限付き移籍も経験しながら、今季途中からは先発出場も続けています。今年で27歳、中堅選手の域に達したと言ってもいい彼は、広島の中盤に相応しい選手になりました。元々はFWの選手ですが、リベロやストッパーも経験し、今では青山敏弘選手とのダブルボランチを組む機会も増えました。即戦力選手を獲得するだけでなく、時間をかけて、選手の特長を伸ばしたり、新たな挑戦を促し、立派なJリーガーに育て上げる広島の育成力を表していると思います。

■茶島雄介選手(2014年加入)

サンフレッチェジュニアからの生粋の広島育ち。ユース時代はキャプテンを務めました。ユースから直接のプロ昇格は見送られましたが、東京学芸大学へ進学し、研鑽を積んでユニバーシアードにも出場しました。その成長を以て2014年プロチームに加入。昨年のクラブワールドカップで出場機会を得ると、その大会を通じて活躍し、2016年の富士ゼロックススーパーカップ、リーグ開幕戦の先発出場を掴み取りました。

育成組織から環境の異なる場所での成長を促し、成長した選手は再び招き入れる。ここにも広島の育成力が見えます。もともと技術が高く、広島のサッカーに合う選手でしたが、加入から三年目で先発出場と活躍の機会を増やしています。

もちろん、育成の結果とは言うもののこれは両選手の頑張りや努力あってのものです。ただ、同時にサンフレッチェはクラブとして「育成」への意識も強くと感じられるエピソードも多いです。2015年によく見られました。佐藤寿人選手が途中交代する際に浅野拓磨選手を励まし送り出す姿。2013年のアウェイ鳥栖戦で水本裕貴選手が野津田岳人選手にPKを譲り「岳人にとっては勝つ中で得点を獲ることが大切。」と試合後にコメントしたように「選手を育て、成長を促す意識」は監督や選手個々ではなくて、クラブに根付き土台となっているものだと思います。

新卒加入選手でも育成組織からの昇格選手でも、移籍加入選手でも広島は選手を育てます。広島で育った選手はこれまでも数多く、これからまだまだ出て来よう。高校2年でユースから昇格した宮原和也選手、今季京都から完全移籍加入した宮吉拓実選手、今季はリーグ戦にここまで2試合出場した高橋壮也選手、期限付き移籍中の選手では野津田岳人選手(新潟)、川辺駿選手(磐田)、吉野恭平選手(京都)らの成長と広島での活躍を待ち望んでいるサポーターも多いでしょう。



今の主力選手、ベテラン選手を越えるのは簡単なことではないでしょうが、レベルの高い選手間競争に勝つべく成長を続ける選手に声援を送り、後押しするのもサンフレッチェ広島サポーターの楽しみですし、選手がチャンス掴んだ時、成長を感じた時、かけた声援の数だけ私たちは幸せを感じられるのだと思います。【きりり】

ここから拍手と手拍子を響かせ降り注がせるのです！

等々力陸上競技場はご覧のように屋根があります。応援の拍手や手拍子が反響して、とてもよく響きます。サンフレッチェサポーターの声援や拍手と手拍子で、選手みんなが気持ちを高めて勇気を出して、それぞれのベストプレーを出せるよう力強く後押ししましょう！「こそぞ！」の時の拍手と手拍子が重要ですよ！選手たちがプレーするピッチへ、この席のサポーターみんなで手拍子の音を降らせるのです！サポーターの最高の応援で選手の最高のプレーを呼び込み、今日の勝利を掴み取りましょう！ 【きりり】



※写真は同じく屋根のある吹田スタジアム

高円宮杯U-18プレミアリーグWEST首位！4年ぶりのチャンピオンシップ出場を目指す

8月28日、京都サンガF.C.U-18を1-0で下し、高円宮杯U-18プレミアリーグWESTの首位にたったサンフレッチェ広島F.C.ユース。高円宮杯U-18プレミアリーグはEAST/WESTで10チームずつに分け、それぞれホーム&アウェイ方式の総当たり戦(18試合)で戦っていますが、サンフレッチェは、現在3試合を残して2位のセレッソ大阪U-18に勝ち点6差をつけています。10月1日に行われたガンバ大阪ユースとの対戦では、山根選手の得点で先制するものの追いつかれ、相手のほうが決定機の多い苦しい試合展開ながら、アディショナルタイムの後半50分、川井選手が得点すると同時に試合終了という劇的な勝利！東西の優勝チーム同士で争うチャンピオンシップへの、4年ぶりの出場が現実味を帯びてきました。

現在、EASTの首位は青森山田高校。勝ち点2差でFC東京U-18、勝ち点3差で横浜F・マリノスユースと大宮アルディージャユースが追っています。チャンピオンシップが行われるのは12月17日(土)。まだ時間や場所は発表されていませんが、例年、埼玉スタジアムで行われています。サンフレッチェのユースらしいGKを含めたポジションも楽しめるし、前線からの激しいプレスも持ち味の、とても魅力的なチームです。ご都合のつく方はぜひ一緒にユースチームを応援してくださいね！ [satokou]



- プレミアリーグ第16節 vs 東福岡高校 11/27(日) 11:00 ~ 吉田サッカー公園
- プレミアリーグ第17節 vs 神戸弘陵学園高校 12/4(日) 11:00 ~ 三木総合防災公園
- プレミアリーグ第18節 vs セレッソ大阪U-18 12/11(日) 13:00 ~ 吉田サッカー公園
- チャンピオンシップ 12/17(土)「場所未定」

リーグ最終戦新潟へ行くぞ！

2週間後の11/3(木・祝)はリーグ最終新潟戦です。今サンフレが最大限狙える4位までは勝ち点差たったの2！CS進出は無くなりましたが、ひとつでも上の順位で終わりたいですね♪13:30キックオフなんで日帰りで参戦なんていかがでしょう？極上の新潟グルメと日本酒、たまらないですよ(*^o^*) 【めけお】

選手もサボも、オフはしっかり次の準備♪

11/3にリーグが終わった後、11/12は天皇杯ベスト16の鳥栖戦(アウェイ)です。そこから1.5か月(!?)空いて年末12/26から天皇杯が再開です。元日決勝が終わると来シーズン開幕までまだまだ約2か月のオフ。選手にはしっかり休んでもらいつつ、サボは試合に飢えながら次の準備をして行きましょう。

タスキで激バモするのための筋トレ！疲労に耐えながらバモするのも楽しいですが体力に余裕が持てればより楽しいですよ♪

選手に向けたゲーフラ作成！布とアクリル絵の具だけで意外と簡単に出来ちゃいます♪遠征のための貯金！来年は楽しみな札幌遠征もありそうですね(^.^) 【めけお】

試合後のゴミ片付け

ゴミも勝ち点も根こそぎ持って帰りましょう！いつもゴミの持ち帰り、集積所までの運搬ありがとうございます。最近仕分けが得意になりました。ちなみに川崎の焼却炉は火力強いです。 【モリ→】

